

HOC

八戸卸センター会報

新春号

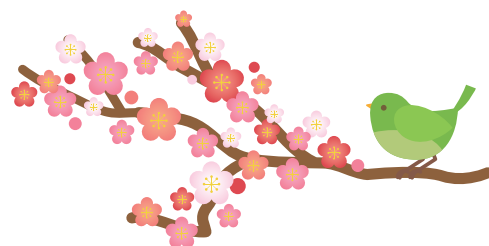
vol.26

平成29年1月発行

高岩展望台からの日の出

種差海岸の中で最も高い場所に位置する展望台で、高さ42mの巨岩（高岩）の上にあります。

- ❁ 2017年新春メッセージ
- ❁ 八戸市による団地内道路のかさ上げ工事完了
- ❁ インフルエンザ予防接種実施
- ❁ 経営トップセミナー・新任管理者養成セミナー実施
- ❁ 美化緑化推進コンクール開催結果ほか



平成29年 年頭のご挨拶

理事長 橋本 昭一

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新たな気持ちで新春をお迎えのことと心からお祝い申し上げます。

さて、昨年は長年の懸案事項であった団地内の冠水対策として、4月に調整池の排水能力を高めるため新たに8本の排水管を設置したほか、12月には八戸市による団地内メイン道路・サブ幹線道路のかさ上げ工事も完了しました。昨年8月には相次ぐ台風の影響で3度にわたり冠水した団地内道路ですが、これらの対策により交通に支障がでない程度にまで被害を抑えられるものと期待しています。

また、関連会社の(株)共同物流サービスが6月に八戸北インター工業団地の「第3物流センター」を稼働させました。これにより団地内外の物流拠点が整理され、長い目で見て組合にも良い影響をもたらしてくれるものと考えております。

今年も行政や関係機関、近隣団体等と連携・交流を図りながら、組合員事業所が活動しやすい基盤整備を推進するとともに、企業活性化、人材育成、地域交流、環境対策の各委員会、経営研究会、支店長・所長連絡会、交通安全協会八戸卸センター支部の各事業活動に積極的に取り組み、団地の価値向上に取り組んで参る所存です。

組合員並びに関係各位のご指導・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

謹賀新年

理 事 長	橋 本 昭 一
副理事長	川 崎 益 美
副理事長兼専務理事	森 山 慶 一
理 事	佐々木 泰 宏
理 事	中 居 雅 博
理 事	赤 澤 榮 治
理 事	関 野 達 也
監 事	鴨 澤 諭
監 事	岩 岡 隆 雄

2017年! 新春メッセージ

2017年は丁酉。「酉」は「取り込む」につながるとされ、運気やお客を取り込んで商売繁盛につながる年と言われるようです。また、「酉」は果実が極限まで熟した状態を指すそうなので、是非実りのある1年にしたいものですね。

さて、今年も年男年女の皆さんに新年の抱負を伺いました。ちなみに酉年生まれの人には「**鋭い直感力がある・行動力や社交性が抜群・親切で面倒見が良い**」といった特徴があるそうです。が…いかがでしょう？



ちば たかし
千葉 敬司 さん
(株)橋文
(1969生)

「変化への対応!」



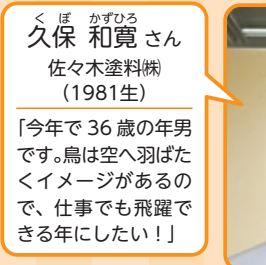
やまだ たかし
山田 崇 さん
エステイー(株)
(1969生)

「自分だけでなく、会社も飛躍できるように頑張りたいと思います。」



なり た かねはる
成田 兼治 さん
(株)サイキ (1957生)

「入社後いろんな方々とめぐり会い、あっという間に時が経ちました。節目の今年も元気に頑張っていきたいので皆様宜しくお願い。」



くぼ かずひろ
久保 和寛 さん
佐々木塗料(株)
(1981生)

「今年で36歳の年男です。鳥は空へ羽ばたくイメージがあるので、仕事でも飛躍できる年にしたい!」



そとだ みわこ
外田 実和子 さん
(株)恒和薬品
(1981生)

「心にゆとりをもって、子育て、仕事をがんばりたいです。」



たばた きよみ
田端 喜代美 さん
(株)共同物流サービス (1969生)

「家族に感謝し健康に注意して、仕事ではチーム一丸となって頑張ります。(釣りの) 目標は80UP真鯛!」

美化緑化推進コンクール 結果発表！

卸センター内の景観・環境整備の推進と美化意識の高揚を図ることを目的として、今年度も「美化・緑化推進コンクール」が実施され、26社から申し込みがあった。環境対策委員会（中村昌嗣委員長／エスティー株）により、写真審査と現地審査を行った結果、以下のとおり表彰企業が決定した。なお、(株)サン・ベンディングは2年連続の理事長賞受賞となった。

賞	受賞企業
理事長賞	(株)サン・ベンディング
環境対策委員長賞	(株)角 弘
優秀花壇賞	昭産商事株
優秀フラワーポッド賞	河内屋金物株
優秀写真賞	(株)西衡器製作所



理事長賞 (株)サン・ベンディング



環境対策委員長賞 (株)角弘



優秀花壇賞
昭産商事株



優秀フラワーポッド賞
河内屋金物株



優秀写真賞 (株)西衡器製作所



そでじょう のりこ
袖城 紀子 さん
(株)恒和薬品
(1981生)

「断捨離をして、身も心もすっきりとした生活をする！」



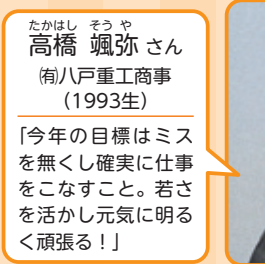
しもむら ちかし
下村 史 さん
(株)共同物流サービス
(1981生)

「業務が移管して2年目となる今年は勝負の年！メンバー丸となって生産性向上に努めたい！」



うさみ だいすけ
宇佐美 大介 さん
(株)共同物流サービス
(1981生)

「家族・会社に日々感謝し、何事にも積極的に取り組みたい！」



たかはし そうや
高橋 颯弥 さん
(有)八戸重工商事
(1993生)

「今年の目標はミスを無くし確実に仕事をこなすこと。若さを活かし元気に明るく頑張る！」



こざき はるな
小崎 春奈 さん
八戸液化ガス株
(1993生)

「何事にも挑戦する心を忘れずに、沢山のことにチャレンジする年にしたい！」



たなか とおる
田中 亨 さん
八戸液化ガス株
(1993生)

「文武両道の精神を忘れずに、積極的に行動します！」



のり た しんいちろう
乗田 辰一郎 さん
(株)橋文 (1993生)

「揺れない心！」

さくやま たかのり
柵山 貴紀 さん
エスティー株
(1993生)

「会社としても来年の30周年に向け大事な年。今年一年しっかり成長し、会社を盛り上げていきたい！」



支店長・所長連絡会 親睦交流会開催

平成28年11月15日(火)午後6時より支店長・所長連絡会(夏川戸齊会長/青森三菱電機機器販売株)の親睦交流会が開催され、16名が出席した。

交流会に先立ち、今年3月にフランスで開催された世界各国の障害者による技能大会「第9回国際アビリンピック」のフラワーアレンジメント部門で銅メダルを獲得した興陽電設株代表取締役 坂本朋子氏をお招きし、「私のチャレンジ」と題しご講演をいただいた。

坂本氏は小学校三年生の時に病気で片足をなくしたが、社会人になってから始めたスキーでアルペールビル、長野と2度の冬季パラリンピックに出場したほか、シッティングバレーボールでも日本代表として北京パラリンピックに出場した経験を持つ。

爽やかな笑顔で「障害は一人一人の個性のひとつ」「好きなことを一生懸命やってきただけ」と語った坂本氏。講演の最後には「パラリンピックの父」グットマン医師の「失ったものを数えるな。残されたものを最大限に生かせ。」という言葉をご紹介いただいた。

坂本氏を囲み行われた交流会では、参加者から「勇気をもらった」「明日から頑張りたい」といった前向きな声が多く寄せられていた。



興陽電設株
代表取締役
坂本 朋子 氏



交流会で乾杯する参加者たち

経営研究会



はこだてわいんの工場にて
トレーサビリティに重点を置いた
生産管理体制について説明を受ける参加者たち

①視察研修実施

経営研究会(鴨沢諭会長/鴨沢塗料株)は、平成28年度の視察研修を11月21日(月)~22日(火)に実施し、9名が参加した。

参加者は3月に開業した北海道新幹線を利用して函館市を訪れ、「はこだてわいん」、「道南食品」といった食品製造工場、生活提案型商業施設として平成25年にOPENした「函館蔦屋書店」のほか、地域集中出店や地産地消で道南最大のハンバーガーショップを築く「ラッキーピエロ」、駅前の新たなランドマーク「キラリス函館」内にOPENしたばかりの交流体験施設「はこだてみらい館」等を見学した。

函館は小学校の修学旅行以来という参加者もあり、「八戸から1.5時間と随分身近になった」という率直な感想がある一方、「聞いてはいたが外国人旅行者が随分多い」と八戸との違いを指摘する声もあった。

②青森問屋町経営同友会と交流会実施

経営研究会では、12月例会を(協)青森総合卸センターの若手経営者や後継者等で組織される「経営同友会」との交流会として青森市で開催した。

前半の勉強会では、(協)青森総合卸センターが平成27年度に取りまとめた「オール青森!を実現する 流通機能向上のためのマスタープラン」について同卸センター業務課長 小田切勇治氏よりご説明いただいた。

その後の懇親会では、参加者全員が自己紹介を兼ねた一言スピーチを行い、会員各社の事業概要や双方の会の活動内容、プライベートな情報までが公開され、和気あいあいとした雰囲気の中で交流を楽しんだ。

参加者たちは、これを契機に今後も交流していくことを約束しお開きとなった。



参加者による集合写真
12月8日(木) ホテル青森(青森市)にて

経営トップセミナー開催（中小企業大学校仙台校との共催）

「企業経営に活！これからの中小企業と強い幹部の育て方」講師 森田 雅美 氏



講師
(株)創造経営センター
代表取締役社長
森田 雅美 氏



メモを取りながら熱心に受講する
参加者たち

平成28年10月27日(木)に中小企業大学校仙台校との共催により「企業経営に活！これからの中小企業と強い幹部の育て方」というテーマで経営トップセミナーを開催し、組合員企業に加え市内外の企業等から合わせて32名が参加した。

講師は経営コンサルティングファーム(株)創造経営センターの代表で、中小企業大学校において財務関連コースや経営管理者研修など多数の指導実績がある森田雅美氏。

森田氏は国内外の環境変化から今後は量に頼った経営は厳しくなるとの見通しを示し、特に非製造業において一人当たりの労働生産性向上が求められていると訴えた。その上で、中小企業の生き残り戦略として①単なる物売り・物作りから「経営」への転換、②経営者と補完者（管理者）が一体となった経営、③強い人づくり・組織づくり（企業性格の向上）という3つのポイントについて解説をいただいた。

受講者からは、「経営の本質に繋がるすばらしいセミナーだった」、「基礎的なことをキチンと継続することが大事なことでと再認識できた」、「補完者の育成、管理者に求められるものについて大変参考になった」などの感想が寄せられた。

組合では、来年度以降も経営者および経営幹部向けのセミナーを企画していく予定なので、自社の人材育成に是非ご活用いただきたい。

新任管理者養成セミナー開催

組合では、新任管理者およびその候補者を対象とする「新任管理者養成セミナー」を11月8日(火)～9日(水)の2日間の日程で開催し、組合員企業より19名が参加した。

漆田講師は、「研修を通して一旦立ち止まり、現状を振り返り、気付きを得ること」、「研修後に色々な選択ができること、それにより仕事のやり方が変わる」と研修のねらいを説明。

研修では、管理者に期待される役割について確認し、職場における管理行動についての自己分析を実施した。その結果、参加者の自己評価では「目標達成のマネジメント」や「職場の問題解決」については実践できている一方、「メンバーの指導育成」や「チームの活性化」については実践できていないという傾向が分かった。漆田講師によれば、他の会社や事業所等で研修を実施しても最近は同様の傾向が見られるという。

参加者たちは、各自の強み・弱みを把握した上



講師
産業能率大学総合研究所
主幹研究員
漆田 隆司 氏

で、事例討議、事例研究、研修ゲームなどを通して、管理者として求められる役割を実践するための技術の習得を目指した。また、研修では参加者が自らの「行動目標シート」を作成。研修を通しての学びや気付きについて逐次記入し、最後に、研修後一週間以内に着手したいこと、いまから1年間で達成したいことについてまとめを行った。

なお、組合員のプライフーズ(株)では、本セミナーを自社の人材育成に取り入れており、課長職になった者の受講を必須にしているという。

組合としても、主に管理者を対象とする本セミナーを定番セミナーと位置付け、毎年実施していく予定だ。各事業所の業績向上と職場活性化のカギを握る革新型リーダーの育成にお役立ていただきたい。

参加者の声



プライフーズ(株)
製造部 食肉製造室
軽米工場
丹波 康信 さん

これまで同僚や部下との対話で自分の主張を押し通すことがありました。

今後は相手の立場に立って理解する“傾聴”を心がけ、ボディランゲージ（目を見る、うなずく、近づく）も活用したい。

（今回学習した）OJT計画表を活用した指導、自己啓発の援助、評価を取り入れ、部下に目標を持たせ、話し合い、人材育成に努めていきたい。



団地内に冷蔵庫やパッケージセンターを所有する青果物卸の第一青果(株)では、このたび青森県の中小企業高度化資金（集積区域整備事業資金）を活用して荷捌き場に上屋を新築した。

冷蔵庫棟と第二パッケージセンターは取得時期が異っていたため別棟となっており、隣接する荷捌き場にはこれまで屋根が無かった。このため、各施設へ商品の搬入や搬出をする際、天候（夏場の強い日差しや降雨・冬場の降雪等）により商品の品質劣化が早まったり、作業者の負担が増すというリスクを抱えていた。

年末の繁忙期を前に上屋が完成したことで、今後は品質劣化によるロスの低減や作業環境・作業効率の改善が期待される。

同社の川崎代表によれば、上屋を設けたことで冷蔵庫棟・パッケージセンター棟の一体的な運用が可能になり施設全体の処理能力を向上させることができるという。これを契機に、既存の取引先の要望に応えることはもちろん、産地市場という強みを活かし県外にも新規の販路を開拓していきたい考えだ。



12月に竣工した上屋

第一青果株式会社

代表取締役 川崎 益美

本社：八戸市河原木字神才7-4

TEL 0178-28-7471 FAX 0178-28-7483

パッケージング部門（ベジフル(株)）：

八戸市卸センター1丁目8-16

TEL 0178-21-3211 FAX 0178-21-3213

卸センター情報

①団地内道路のかさ上げ工事が完了

団地内道路の冠水対策として八戸市が進めてきた団地内道路のかさ上げ工事が平成28年12月20日（火）に完了した。（八戸市による完成検査は平成29年1月末の予定）

7月より測量が始まり、その後、卸団地1号線（メイン道路）、2号線（サブ幹線道路）、9号線（株橋文-佐々木塗料(株)間の南北道路）の全長380mにわたり、表層部分を7cm剥ぎ取り、新たに路盤と表層を（最も浅い所で7cm、最も深い所で49cm）盛るという工事であった。

施工を請け負った東復建設(株)の平貴臣氏によれば、8月に度重なる台風等で3度も冠水したことは大変驚き、苦勞したという。また工事期間中、通行止めや片側交互通行などの交通規制に対し、各事業所に協力いただいたことに感謝の言葉を述べた。

工事前後の団地内メイン道路の様子

※団地内で最も標高（海拔）の低い地点（佐々木塗料(株)～第一青果(株)付近）を撮影



②インフルエンザ集団予防接種を実施



12月1日に実施した予防接種の様子

インフルエンザ罹患による長期欠勤や事業所内での感染拡大は、本人の健康上のリスクであることはもちろん、各事業所にとっても年末の繁忙期に多大な影響を及ぼすことから、当組合では組合員従業員を対象にインフルエンザの集団予防接種を初めて実施した。

申込受付、問診票の事前配布、当日受付、各事業所への請求と医療機関への支払等の業務を組合が行い、問診とワクチン接種業務は「伴内科心臓血管クリニック（八戸市売市）」に依頼した。

12月1日（木）と8日（木）の二回（いずれも時間は13時から14時まで）実施し、合計で19社・112名（1回目12社・54名、2回目15社・58名）が予防接種を受けた。

組合では、告知時期や実施時期を検討した上、来年度以降も組合員従業員の健康維持と各企業の安定的な事業活動の支援を目的に、継続して実施する予定なので是非ご活用いただきたい。

●●● 交通安全協会 八戸卸センター支部からのお知らせ ●●●

①防災訓練を実施

交通安全協会八戸卸センター支部（中居雅博支部長／中居食品容器株）は、平成28年10月18日（木）組合会館展示場において、八戸消防署尻内分遣所の指導による防災訓練を実施し、16社から43名が参加した。

今回は①119番通報訓練 ②応急手当訓練 ③応急担架作成訓練 ④消火器取扱い訓練⑤AED取扱い訓練など定番メニューに加え、新規で⑥起震車による地震疑似体験を実施した。また、昨年まで実施していたチーム対抗の総合訓練を廃止し、その分個々の訓練時間を多く取って参加者全員が体験できるよう時間配分の見直しを行った。訓練終了後には炊き出しのカレーライスが提供され、参加者に喜ばれていた。

訓練後のアンケートでは、「緊急時の知識は知らないことだらけで勉強になった」、「消防隊員の方が熱心に教えてくれ分かりやすかった」、「地震疑似体験は想像以上で良い経験になった」などの声が寄せられた。



起震車による地震体験で震度7の揺れを体感する参加者

②交通安全講習会を実施

八戸テレビニュースで
放映されました

11月10日（木）組合会館大会議室において、交通安全協会八戸卸センター支部と八戸流通センター支部の共催による11回目の交通安全講習会が開催され、両支部の会員企業から26社・41名が参加した。

今回は、八戸地区交通安全協会 安全教育指導部長の大丸特久剛氏をお招きし、「確かめること、知らせること」という演題でご講演いただいた。

右は大丸氏が黄色信号を右手に掲げた瞬間の写真。この瞬間大丸氏が左手でどこを触っていたか？尋ねられた受講者は誰一人答えられなかった。右手の黄色信号に注目するあまり、見ているつもりでも見えていない部分があることを実感する機会となった。

受講者からは「交通安全の意識を強く持とうと思った」、「八戸の運転マナー向上のため、まずは自分から運転に気を付けます」など感想が寄せられ、安全運転に対する意識の高揚が図られたようだ。



信号を掲げる大丸氏



署名を手渡す中居支部長（左）

③飲酒運転根絶のための署名提出

9月より八戸卸センター支部の会員企業に呼びかけ実施した飲酒運転根絶のための署名活動については、69事業所より1,750名分の署名が集まり、上記の交通安全講習会の中で、同支部の中居支部長より八戸地区交通安全協会の大丸部長に手渡された。

西地区周辺道路清掃活動の実施

平成28年10月13日（木）当組合と近隣の団体・企業による秋の合同清掃が136名（うち卸センターからは47名）の参加で実施された。

ゴミの回収量は可燃物40kg（昨年比40kg減）、不燃物10kg（昨年比10kg減）だった。



清掃活動の様子

蛍光管・乾電池の共同回収実施

11月15日（火）～16日（水）の2日間、蛍光管と乾電池の共同回収を実施した。

回収量は、蛍光管が24社より1,010.8kg（前年比250.7kg増加）、マンガン・アルカリ乾電池が16社より180.5kg（前年比105.7kg減少）、ボタン・リチウム電池が9社より5.2kg（新規）だった。



回収された蛍光管・乾電池

女性社員交流会「ヨガ体験 & 交流会」・

男女混合「ヨガ教室」開催



女性社員を対象とした「ヨガ体験と交流会」が平成28年10月18日(火)午後6時より組合会館展示場で開催され、7社から17名が参加した。ヨガ体験の講師は昨年に引き続き、“はちえきキャンパス”で講座を持つ中山かおる先生。

参加者はヨガ体験で身も心もほぐした後、軽食やプチケーキを楽しみながら、「好きな食べ物」をテーマに自己紹介するなどして親睦を深めた。

また、男性からの「ぜひヨガをやってみたい!」という熱い要望に応え、男女混合の「ヨガ教室」が11月18日(金)に開催された。5社から18名(男性11名・女性7名)が参加し、日頃の運動不足やストレス解消に一役買ったようだ。

それぞれの企画終了後に収集したアンケートによれば、終業後に手軽に参加できる講座に関して一定の需要があったことから、組合では来年度も内容を検討した上で企画提案していく予定だ。



女性社員交流会で自己紹介する参加者



ヨガ教室の様子“木”のポーズを決める参加者

組合員交流「ボウリング大会」開催

地域交流委員会(橋本博文委員長/株橋文)が企画した組合員交流「ボウリング大会」が平成28年10月21日(金)ゆりの木ボウルにて開催され、13社から64名が参加して熱戦を繰り広げた。

2ゲームの合計スコアによる団体戦と個人戦の結果は下表の通り。(女性は1ゲームにつき20点のハンデ有り)



(左) ボウリング大会の様子

(下) 団体戦優勝の佐々木塗料Aの皆さん

団体戦		個人戦	
優 勝	佐々木塗料A	優 勝	木村 真理子(佐々木塗料A)
準優勝	鴨沢塗料A	準優勝	夏川戸 斉(青森三菱電機機器販売)
第3位	八戸液化ガス	第3位	松村 英明(鴨沢塗料A)



組合カレンダー (主な行事等)

日 時	行 事 名
1月17日(火)	提案型営業力強化セミナー 第1回(全2回)
1月25日(水)	次世代リーダー育成セミナー 第4回(全4回)
2月2日(木) ～3日(金)	卸センター「わくわく交流会」 於 卸センター展示場 (両日とも11:00～18:00)
2月8日(水)	青森県による 集積区域整備事業運営診断
2月15日(水)	初級料理教室 第1回 (全3回・男性社員対象) 於 はちえきキャンパス
2月16日(木)	組合役員会(午前10時30分より) 組合員昼食会(正午より) 於 組合会館
2月21日(火)	提案型営業力強化セミナー 第2回(全2回)

編集後記



本年もどうぞよろしくお願い致します。昨年12月に「八戸三社大祭」の山車行事がユネスコ無形文化遺産に登録とか、全国でも珍しい市営書店「八戸ブックセンター」オープンなど、将来を期待させるようなニュースが続きました。

個人的には、大みそかに放映されたNHK・Eテレの年越し番組で、2016年を締めくくる曲として「さらば、八戸」という曲が選ばれたことも印象的でした。

八戸市が今年1月1日より中核市に移行することを見越しての「さらば、八戸」では(おそらく)ないのですが、今年は5月1日に市制施行88周年を迎えることもあって、八戸にとっては「8」並びの記念の年となります。また、その先には周辺町村との連携中枢都市圏の形成が協議されていますので、こうした八戸圏域の活性化を目指す動きにも注目しながら、チャンス「トリ」込めるような年にしていきたいものです。

編集責任者: 協同組合八戸総合卸センター事務局
TEL: 0178-28-0311
FAX: 0178-20-5599

担当 関本 祐幸